

宍道湖東域川づくり検討委員会を開催しました。

「斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画」の変更について審議するため、学識経験者や地元住民で構成する「斐伊川水系宍道湖東域川づくり検討委員会」を平成25年8月29日(木)に、島根県民会館で開催しました。

上追子川に排水機場（排水ポンプ）を新設します。

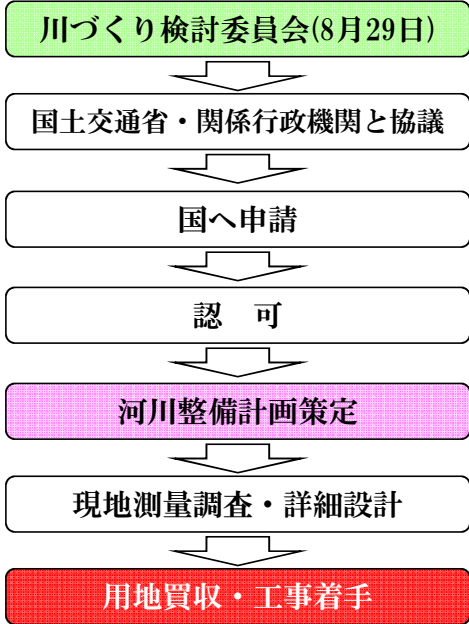
現在の「斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画」(H22年8月策定)は、計画対象範囲内において、①「佐陀川」および②「忌部川」の河道改修について定めています。

この度の計画変更は、現在、国により進められている大橋川の護岸や水門の整備等と合わせ「上追子川の排水機場（排水ポンプ）」の整備を追加するものです。

この計画変更(案)について、計画の記載内容の時点修正等を含め、「川づくり検討委員会」において審議を行いました承されました。

今後は、できるだけ早期に整備計画を策定し、詳細な計画(位置・構造等)や施工時期等について、国や松江市等と調整を行い、工事に着手します。

今後の流れ

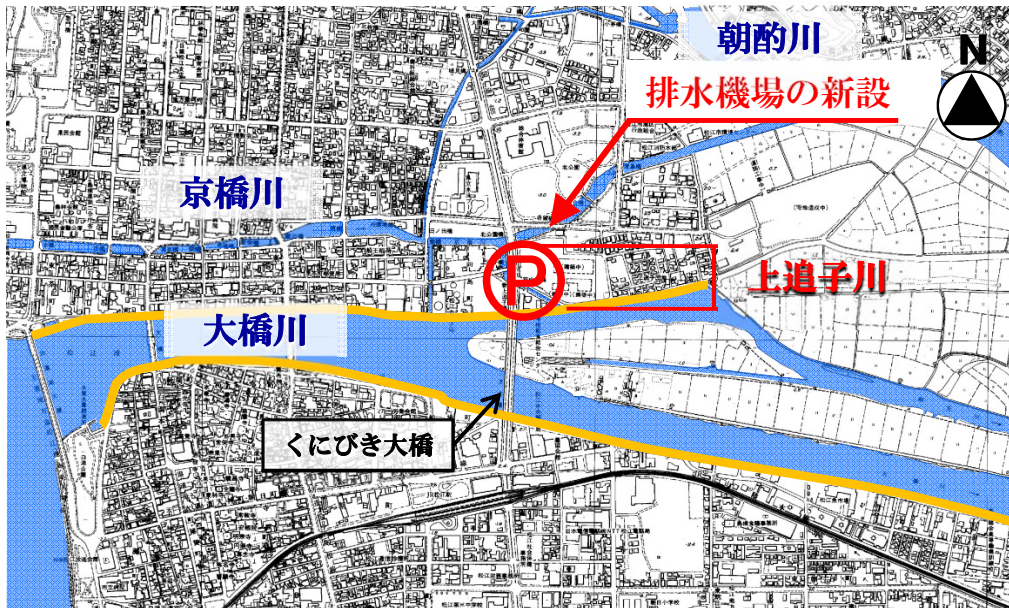


宍道湖東域の計画対象範囲



←川づくり検討委員会での審議状況

追加する計画概要



- 上追子川に排水ポンプ(排水能力 $5.0\text{m}^3/\text{s}$)を新たに整備します。
- 今回追加する上追子川排水機場(排水ポンプ)を整備する期間は概ね5年間とします。
- ◇委員の方々から様々な意見を頂きました。主なご意見と県の回答は次のとおりです。

【主な意見】

【回答】

<p>設置するポンプの排水能力$5.0\text{m}^3/\text{s}$という規模はどのように決定したか。</p>	⇒	<p>様々なパターンを検討した上で最適な規模と設置場所を決定している。</p>
<p>限られた予算の中で明日起こるかもしれない集中豪雨に対応するためには、長期的な視点に立つとともに、早目に対策できる場所は可能な範囲で進めたほうが良いと考える。</p>	⇒	<p>効果が早く表れるものをできるだけ早くやっていくということも大事な観点だと考えている。今回の排水ポンプは、国と一体となって早期整備を図りたい。</p>
<p>上追子川からのポンプ排水時に松江堀川内のヘドロが流出し、シジミが死んだことが過去にあった。浄化ポンプの利用など検討しているか。今後、ポンプを増設することにより、運用上の変化があるか。</p>	⇒	<p>上追子川に排水能力$5.0\text{m}^3/\text{s}$のポンプを増設することを示した段階。詳細は、今後関係者の意見をうかがいながら検討していく。治水と同様、河川環境の維持保全も重要な課題と認識している。</p>
<p>雨が降っている時にポンプが動いているということが、住民に理解できるような仕組みがあるといいのではないか。</p>	⇒	<p>以前に比べて、雨量や水位等の情報をインターネットや携帯電話等でリアルタイムに提供できるシステムになってきている。ご指摘のような意見も含め、その情報をいかに見ていただき、いかに判断していただくかということが、今後の重要な課題のひとつだと認識している。</p>
<p>汽水の環境を重要視していただきたい。貴重な生物だけを重要視するのではなく、当たり前前の生物がいることが大切。汽水の生き物、多様な生き物がいること自体が環境にも良い影響を与える。</p>	⇒	<p>環境については、できるだけ何でも住めるような、水質や流れなどを配慮していきたい。</p>

お問い合わせ先: 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL:0852-22-5198 / FAX:0852-22-5681

↓詳しくは島根県河川課のホームページに掲載しています。↓

<http://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/>